

なかしふ

議会だより

活力みなぎる緑の郷土 なかしふ



- 平成20年12月定例議会 ②
- 一般行政報告・教育行政報告 ③
- 一般質問 ④~⑨
- 決算審査特別委員会 ⑩
- 第5回臨時会 ⑪
- 各委員会活動レポート ⑫
- 人権擁護委員の推薦、東京・札幌中標津会 ⑬
- 行事関係 ⑭

平成21年1月

No.80

陽春の朝日に輝く木々

12月定例議会で決まりました

平成20年12月8日から12日まで開催し、議決された主なものをお知らせします。



◇介護保険事業 特別会計補正 予算

◇釧路・根室広域地方税滞納整理機構規約の一部変更

正副議長、正副議運・常任委員長会議は、正副議長、正副議運・常任委員長で構成し、議長が招集する。

分娩介助料 現行8万円を15万円（時間外・休日深夜・双胎は除く）に改定する。

全員協議会及び正副議長、正副議運・常任委員長会議」に改める。

人口妊娠中絶
3ヵ月まで7万8000円を6万円に
4ヵ月まで9万4000円を8万円に改
定する。

◇中標津町議会会議規則の一部を改正する
規則制定

◇町立中標津病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定

第17条第1項第1号イ中「公有地の拡大の推進に関する法律」を「公拡法」に改める。

健康保険法施行令第36条の規定を勘案し、必要があると認めるときは、規定の定めるところにより、これを3万円を上限として加算する。

◇中標津町土地開発公社定款の一部変更
「民法第59条」を「公有地の拡大の推進に
関する法律（以下「公拡法」という）第16
条第8項一に改める。

条例の改正・制度が提案され 議決されました

（主な内容を掲載します）

◇中標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

第34条の7の第1項第9号に掲げる寄附金の区分を控除対象寄附金を社会福祉法人中標津町社会福祉協議会に対する寄附金・社会福祉法人中標津朋友会に対する寄附金・社会福祉法人中標津有隣福祉会に対する寄附金に改める。

◇一般会計補正予算

1億1683万円を追加し124億5111万円となりました。

◇国民健康保険事業特別会計補正予算

235万円を追加し5億922万円

◇町営牧場特別会計補正予算
595万円を減額し11億51190万円となりました。

機構の補助職員を関係町村の会計管理者に変更、現行の機構の構成に別海町、標津町を追加する。

一般質問

町政を問う



12月定例会では7人の議員が11問の質問をしました。

理事者から、それぞれ答弁がありまして要約し掲載いたします。

酪農における糞尿処理

柴野忠征 議員

国に機会あるごとに要望を行う 町長

質問



え、400頭を超えて飼育している

酪農家は両農協で6戸を数え、100万tの糞尿が排せつされ、草地面積からして全量還元は不可

能と考え、ha当たり散布量・行政指導はどうなっているのか。

と利活用について質問した際、「糞尿全量の農地還元」の回答があり具体的な取り組みを。

中標津町で飼育されている乳用牛などは4万5000頭を超えており、前年比4000頭以上が増

きであり、国策で大型酪農を推進したのであれば施設設備費など国家負担を求めるべきではないか。

町長答弁

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用促進に関する」法律

で、糞尿の処理施設などの補助事業で集中的に行うとし、本町でも農協を中心、糞尿処理施設整備などを計画的に進め、現在100%整備完了しました。

糞尿の全量農地還元では、散

約60tが可能で、本町の耕作面積では全量農地還元が可能です。

糞尿処理対策としてシートラ

グンは極めて危険性が高く、安全な場所、柵など必要と考

えます。

国への施設設備費については総合的に判断し、機会あるごとに要望を行つていきま



農業経営安定緊急対策

弾正原 正 議員

両農協と協議し検討します

町 長

質問



農家は、生産資材の高騰によりかつて経験したことのない大きな打撃を受けており、最終精算においては平成19年度と比較し、さらに負債整理資金の対応が増加するように思われる。

今年度乳価の期中改定交渉の結果、ブルル乳価で生乳1キロ額1千312万円が補正予算化されております。

当たり5円30銭の引き上げを乳業メーカー各社と合意に達して

介護療養型医療施設

端 裕子 議員

既存施設の活用を検討中

町 長

質問



厚労省は介護保険が適用される「介護療養型医療施設」を、平成23年度末で廃止する事を決定しました。介護福祉施設は、特別養護老人ホームと老人保健施設のみになり、当町では中標津りんどう園と医療法人の石田病院

になり、石田病院の療養病床60床が廃止になると、患者は一体どこへ行けばいいのか、在宅と言われても、いわゆる老老介護で共倒れになつている状況も報じられています。高齢者福祉を切り捨てる事なく、地域医療が崩壊する前に、國の方針にかかわらず、現存している施設と協

このような中、蘭越町では経営面積に応じ平等に数量が決定されている農業用免税軽油の購入経費に対し、対象農家300戸に對し1㍑当たり20円の助成、金額1千312万円が補正予算化され

町長答弁

おり、全国市町村の中で第二位の乳量を誇る当町においても、何らかの緊急支援対策を実施する必要があると思いますが、町長の考え方をお聞かせ下さい。



後の生産費分を飲み込むことがでるのか、不安が残るところです。

農業の衰退は町の経済に大きな影響を与えることから、国や道

が行う緊急対策事業などを勘案し、両農協とも協議しながら農業経営の安定化に対する支援策が、実施は来年3月であり、現在の農業生産費の上昇分及び今

石田病院自体が今後、療養型医療施設の療養病床を改修し、老健施設として検討していくのかの再編を決定しました。当町には老人保健施設は設置されていないので今後、療養病床60床が廃止されると、国が転換を予定している介護老人保健施設やケアハウスの整備をしなければなりません。町が老健施設を新たに整備することは、財政上厳しい状況ですが、少なくとも石田病院の60床入所者の処遇は確保しなければならず、現在第4期介護保険事業計画策定中であり、

町長答弁

国は平成23年度末で介護療養型医療施設を廃止し、療養病床の再編を決定しました。当町には老人保健施設は設置されていないので今後、療養病床60床が廃止されると、国が転換を予定している介護老人保健施設やケアハウスの整備をしなければなりません。町が老健施設を新たに整備することは、財政上厳しい状況ですが、少なくとも石田病院の60床入所者の処遇は確保しなければならず、現在第4期介護保険事業計画策定中であり、



石田病院自体が今後、療養型医療施設の療養病床を改修し、老健施設として検討していくのかの再編を決定しました。当町には老人保健施設は設置されていないので今後、療養病床60床が廃止されると、国が転換を予定している介護老人保健施設やケアハウスの整備をしなければなりません。町が老健施設を新たに整備することは、財政上厳しい状況ですが、少なくとも石田病院の60床入所者の処遇は確保しなければならず、現在第4期介護保険事業計画策定中であり、

中標津農高体育館の新築・施設・設備の充実

後藤 一男 議員

第6期中標津町総合発展計画で 教育長



質問

町立農業高校は創立以来59年の長い歴史にわたり農業後継者、また農業の理解、協力者として創造・忍耐・努力の校訓のもと229人の生徒が卒業し、各方面で活躍されています。

食育学校を生徒自らが農業実

践學習をとおして企画、実施し、地域からも高い評価を得ております。学校農業クラブ全国大会に於いてもすばらしい成績を残したことは、生徒ひとり一人がしっかりととした考えに立つて教育を受けています。

体育館は築40年近くになり老朽化が進み、特に冬期間においては厳しい条件の中での運動を強いられています。健全な精神

教育長答弁

農業高校は、本町の基幹産業であります農業・酪農経営などを専門教育を施し、農業後継者を養成することを目的としており、

次に本町で実施している国保人間ドックは30歳から69歳までを対象に実施しており、特に影響は出でていない。



計根別地区に於いて農業高校が中心となり幼・小・中学校を対象に食育学校を実施し、広く高い評価をいただいているところです。

後期高齢者医療制度

石井初義 議員

体制を見据えて検討

町長

質問



後期高齢者医療制度は、75歳以上の人をこれまでの国民健康保険から脱退させ強制加入にしたうえで月額わずか1万5,000円以上でも年金天引き、収入のない人からも保険料を徴収し、払えなければ保険証を取り上げる

という過去に例をみない非情な制度です。全国津々浦々から制度撤回、見直しを求める声が拡がっております。当町としても関係機関に廃止を求めるべきではないか。

この制度の導入に伴い、少ない自治体がこれまで実施していた高齢者の人間ドックの中止を余儀なくされた。このこと

いを踏まえ、この程北海道後期高齢者医療制度は、本町の基幹産業であります農業・酪農経営などを専門教育を施し、農業後継者を養成することを目的としており、

この制度については国民の間には不信感が募っていることは認めます。国の責任において、財源の裏づけが伴つた制度設計を目指し、市町村に混乱が生じることのないよう然るべき検討を早急に行なうよう、全国町村会において要請をしているところです。

町長答弁

次に本町で実施している国保人間ドックは30歳から69歳までを対象に実施しており、特に影響は出でていない。

母子家庭に対する児童扶養手当と自立支援制度

石井初義 議員

道に対し広報・周知の働きかけ

町 長

質問

母子世帯に支給されている児童扶養手当が、今年4月時点

5年以上受給している人について削減をされる。実際には求職証明書や医師の診断書などを提出すればこれまでどおり受給できるが、本来減額せず無条件に支給すべきと思うが、窓口での対応を含め減額となることのないよう周知を図るべきでないか。

非正規職員の正規化

石井初義 議員

全ての職種の正職化は困難

町 長

質問

今、構造改革の名のもとに、コスト削減を優先し、将来の事業縮小や民営化などを見据え、自治体職員の非正規化が進められている。

当町においても常勤の状態にありながら嘱託職員ということである。住民との対応に関しては、正規も非正規もないのであり、

自治体職員については、地方公務員法に基づき、本町でも嘱託員を任免して実行しているが、構造改革や地方分権の推進によ



町長答弁

児童扶養手当の一部支給停止措置に伴い本町においては全受

給者に対し通知文を送付し、現状届けの提出の際にも口頭で周知を図ってきており、現在のところ対応はできております。

次に自立支援給付金の役場窓口での対応ですが、本事業は北海道が実施する事業でもあり、パンフレットは数枚しか配付されていないため全員にお渡しする状況にはなっておりませんので、町としては制度の周知が必要な方にその度お知らせすると

ともに、北海道に対し広報、周知用のパンフなどを全員に配付できるよう働きかけていきたい。



り責任分担が増えてきているなかで歳入規模の縮小を余儀なくされており、全ての職種における正職化は大変難しいと考えているところです。児童館には9人の嘱託員がおり、本町の子育て事業は全国的にも高い評価をされていることは認識しています。しかしながら定員管理については「地方公共団体における行政改革のための指針」などにより、22年4月における数値目標を求められていることから大変な状況にあることをご理解賜りたいと存じます。

安心して学べる教育環境の整備

水石幸衛 議員

耐震化に向けて計画的に推進してまいります 教育長



質問

造診断指標に満たしていないと伺っております。

学校は児童生徒、そして教職員の方が昼間の大半を過ごす場と共に、地域住民の緊急避難場所になつていることから耐震性の確保は極めて重要です。

本町の耐震診断の必要な施設すべて文部科学省が定めた、構

造診断指標に満たしていないと、耐震診断の現段階の計画、財政状況を踏まえた上でどう取り組まるのかお伺いいたします。

また、耐震化推進計画の概要が発表され、建物の耐震化だけではなく天井や照明器具の落下、収納棚の転倒などによる被害を

町長と議会の更に進んだ関係

松村康弘 議員

徹底した情報の公開

町長

質問

議会における論議を実りある



議会における論議が形骸化すると

「議会は町長が提案したから承認した」・「町長は議会が承認したから執行した」という事になり、結果が出た時には誰も責任を感じない、負わないという事態になりかねません。

ものにし、町長としてのイニシアティブを発現していくためにこの一般質問に対する答弁の手順の中にも、政治家小林実氏の指導力が明確に示される形を研究されるべきではないでしょうか。

また、提案される各種の「計画」について、議会の関与度を増す事を検討なさいませんか。

食い止めるため、日的な点検や補強を指摘されております。

安全対策についてこれまでの取り組みと合わせ、今後の対策をお伺いいたします。

教育長答弁

町立学校14校51棟内、昭和56年以前に建設された学校の校舎

棟9校、屋内体育館10校34棟が耐震改修の対象施設になつています。

耐震化優先度調査を基に、今年度は武佐小中学校の体育館を診断、今後は鉄筋コンクリート校舎の診断とブロック構造の耐

次に政策評価を数値化して、事前公表、事後評価を議会に対して行う事が時代の要請だとお考えになりませんか。

町長答弁

町政を預かる者として、職員の先頭に立ち、町の発展を目指して先導していくのが町長としての役割と考え、特に議会との関係について「徹底した情報の公開」、特に財政状況について積極的に説明責任を果たしてまいります。

また、5期計画終了時の事後の評価については6期計画を策定する上でも、平成13年から現在までの実績を解析する事は重要な作業であると認識し、報告いたしました。



町の中心部にある文化会館シルベットホールが多目的に自由に使われています

力度調査を予定し、結果を基に工事を計画します。



質問

安全対策についてこれまでの取り組みと合わせ、今後の対策をお伺いいたします。

町創り会社の創設とその企業理念の具現化

松村康弘 議員

今後の地方分権などによる新たな展開を検討 町 長

質 問

百年に一度という経済危機に世界全体が見舞われています。

輸出が好況という事で人不足であった巨大都市で急激に失業者が増大していますが、有限の地下資源によって加速度的に成長する文明、そして高度情報システムによる金融バブルの崩壊を明確に予言しているエントロピーの法則にのっとり、真の全

ての生命達を輝かせるような生命の経済システムを具現化するような努力を我町は使命と自覚して、羅臼町の観光協会事務局長やサーモン科学館長のように人材をチームで募り、もつと地域振興の企画と実行をゆだね、その活動の象徴として旧開陽観光開発跡地に、小さくても国際会議場を構想する事ができないものでしようか。

町長答弁

グローバル経済がダイレクトに地域に影響を及ぼす時代となりましたが、地域の農業は、安

全・安心な農産物を全国の消費者に提供し続ける事が最大の使命ではないかと考えます。

大都市の人々から「緑の環境都市」としての期待が高まってきている事に応える事も必要だと思います。

第3セクターによる「まちづくり会社」は、今後地方分権などによる新たな展開の中で検討してまいります。

町長答弁

高齢者の方々が生きがいをもち健やかな日常生活を送る事は大切で、介護予防事業の推進やシルバー人材センターや老人クラブへの参加があるところです

が、町の公共施設でこれらの団体に参加せず、自由に利用できる施設では総合福祉センターや文化会館のホールなどはあります、いつでも自由に来館して利用できる施設は現状ではありません。

したがいまして、社会福祉協

町民福祉の拠点プラットポレボレもあります

議会などが取り組んでいる町内会単位の「いきいきサロン」などでその進捗状況を見極めた中で、町としても施設や管理方法などについて模索してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

下がりつつある今日でも日中の灯油を節約するために、民間や公共の空間で時間を過ごすとされる方々がいます。

そんなお年寄りから提案いただいたのですが、放課後の子供達が自由に集まっている児童館



展望台より旧開陽温泉を望む

質 問

児童館の設置理念に対応するような「老人館」の創設 松村康弘 議員

町 長

施設や管理方法など模索

の設置理念に対応するような

「老人館」というものは、創設できないものだろうかという話

しです。

老人クラブに入らなくても、

急激な物価上昇の結果、年金暮らしのお年寄りの生活はとても大変なですが、灯油の価格が

そんなお年寄りから提案いただいたのですが、放課後の子供

達が自由に集まっている児童館



町民福祉の拠点プラットポレボレもあります

が、町の公共施設でこれらの団体に参加せず、自由に利用できる施設では総合福祉センターや文化会館のホールなどはあります、いつでも自由に来館して利用できる施設は現状ではありません。

したがいまして、社会福祉協議会などが取り組んでいる町内会単位の「いきいきサロン」などでその進捗状況を見極めた中で、町としても施設や管理方法などについて模索してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。



平成19年度 各会計決算 認定審査

平成20年9月定例会において当委員会に付託された、平成19年度中標津町各会計の決算認定審査を次の通り実施したので報告いたします。

1
件
名

記

2 番查月日

**平成19年度中標津町各会計
決算認定審査
審査月日
2
7日までの5日間**

3 番查結果

各委員より総計87件の質問を受け、決算認定に向け精力的に審査をいたしました。

予算の執行の結果、どのような効果を挙げたのかについての調査を行いました。歳入歳出では、各税

徴収に関して例年指摘をすることになりますが、今年度より採用された広域地方滞納整理機構への委託は、費用対効果が十分に現われています。

特は徴税率の悪い国民健康保険税は、税額の設定・徴収方法も合せ、予防医学の視点から町立病院や保健センター・民間の健康増進施設との提

携の中で対応を構築する必要を感じています。

期滞在は道内有数の実績になつているが、移住希望者のニーズと提供できる環境にはギャップがあるのではないか。不動産業者に期待するのだけれど

なく、町独自の農園付き住宅構想を打ち立て、移住者を増大させるよう努力願いたい。

公営住宅の運用については
入退去時・家賃未納時・保証
人に対しまだ改善の余地あり

民間事業者を参考にし改善してほしい。

家畜糞尿臭気対策協議会の負担金201万円について、明確な効果にたどりついていない現場の実例について情報提

われます。

予算が執行されたかに重点をおいて審査してまいりましたが、予算編成時から縦割り

の弊害が感じられ、部局間を横断するような各部長職に置かれましては、この点に深く留意し予算編成、執行に努めさせていただきたい。

達成目標を数値化し、政策課題の達成に向けた努力の跡が見受けられます。

このたびの平成19年度中標津町各会計決算は適正であると認め認定します。

忙で退職するケースもあり、病院のコンビニエンス化傾向

第5回臨時会

(平成20年11月10日)

◇平成20年度中標津町一般会計補正予算（第5号）
中標津広陵中学校アスベスト除去工事費として、
国庫補助費4000万円を含む6000万円の一般会計補
正予算を追加し123億3434万円となりました。



第1回臨時会

(平成21年1月14日)

◇町道路線の認定及び廃止
町道新設7路線、起点終点変更
のための3路線の廃止と新たな
認定、合わせて10路線を認定した。



根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会研修会



平成20年10月9日、1市4町の林活議員連盟の森林視察が根室市農林課の案内で「根室市民の森」を、根釧東部森林管理署の案内で「イチイの群生林」を対象に行われました。

根室市民の森は森林とのふれあい、緑に親しみ、自然と共に生きる心を育むをコンセプトに市民参加の植樹祭や各団体が植樹するなど市民と協働の森づくりを目指し、12年間で2万6000本の植樹を



イチイ純林保護林は天然のイチイが70%の高密度で混生し森林の上層に形成し、特異な群落として学術的価値が高いことから平成10年に5haが維持タイプとして原則禁伐など、人の手を加えない保護林に設定されました。

私達も改めて自然のすごさと緑の大切さを学んだ一日でした。

常任委員会

活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。

定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項の調査をしています。主な調査事項を報告します。

調査内容

- ・釧路、根室広域地方税滞納整理機構について
- ・町財政の現状
- ・学校施設のアスベスト含有建材製品の使用について
- ・学校給食費の改定について
- ・農業高校の受賞状況

総務文教常任委員会

調査内容

- ・入額が、前年同時期を若干上回っていることが報告された。
- ・地方税整理滞納機構での実績は厳しい対応により、効果が上がっていることが報告された。
- ・国の厳しい財政状況と21年度町予算編成方針が示された。



調査内容

- ・学校施設でのアスベスト含有建材製品の使用の現状、取り組み（早期急な除去工事、職員・保護などへの対応）が提示され議論した。
- ・11月20日の委員会は教育委員との懇談もあり、給食センターより、食材の高騰等で21年度給食費を改定せざるを得ない方向性が示され議論した。
- ・また、農業高校の各賞の受賞報告を受けた。

(教育委員会)

調査内容

- ・学校施設でのアスベスト含有建材製品の使用の現状、取り組み（早期急な除去工事、職員・保護などへの対応）が提示され議論した。
- ・11月20日の委員会は教育委員との懇談もあり、給食センターより、食材の高騰等で21年度給食費を改定せざるを得ない方向性が示され議論した。
- ・また、農業高校の各賞の受賞報告を受けた。

町税条例と収納状況

(総務部)

町が条例により指定することができる寄附金の寄付金控除対象を、町内に主たる事務所を有する法人または団体に対する寄附金とする案が提案された。

20年度9月末での町民税などの納入額が、前年同時期を若干上回っていることが報告された。

地方税整理滞納機構での実績は厳しい対応により、効果が上がっていることが報告された。

厚生常任委員会

調査内容

- ・福祉灯油について
- ・町立中標津病院について

(町立中標津病院)



調査内容

昨年末補正計上された福祉灯油は1月23日までに最初の取りまとめを行なう事を目標に、窓口での受付を行なっていますが、高齢者の一人世帯、障がいを持つおられる方、一人親世帯の中で、非課税世帯の方が対象ですが、該当する町民の皆様にもれなくお届け出来るよう部局と議論した。

福祉灯油など

(町民生活部)

病院の運営は医師の研修医制度の影響を受け慢性的な医師不足の続く中、厳しい状態が続いており、結果として計上された赤字の補正に同意しておりますが、新年度に向け整形外科をはじめとして、明るい兆しが見えており、町民の皆様の期待に応える中核病院としての役割を果たせると報告を受けた。

産業建設常任委員会

調査内容

- ・中標津町東小学校校舎増改築工事の進捗状況について
- ・空港利用状況について
- ・第5期道路整備5カ年計画について

東小学校工事の工事現場



調査内容

東小学校工事の工事現場では、係員からの説明では基礎鉄筋型枠工事施工中で、完了後型枠取り外し、全体工事は概ね工程どおりで進んでおり、町民の皆様の期待に応えると報告を受けた。



中標津町運動公園整備状況

中標津町運動公園整備の状況

運動公園整備の事業は、平成14年度に着手し、15年度には管理棟、スピーデ及びアイスホッケーのリンク、17年度から18年度で球技場2面を整備、19年度から球場2面の整備を行い21年度での供用を予定し工事が終了。

（事業期間：平成14年度～20年度、計画面積：23・7ha、総事業費：18億9000万円）

空港の利用状況



空港の

利用状況

は4月から9月上旬で、東京便は5

万246

3人（搭乗率62・

幌便で492%）、札

万3040人（搭乗率70・51%）となつており、今後とも利用客の増加に向けての対策が重要とのこと。

の工事を現地視察した。併せて、南9丁目通りなど

目標設定がされていること

でこれを承認。



第4期道路整備5カ年計画の進捗状況

第4期道路整備5カ年計画の進捗状況を踏まえ、第5期計画について協議し要望調整の結果を踏まえ、重

要性・地域性などを考慮されており、

人事案件

人権擁護委員の推薦について意見を求められましたので同意しました。



氏名 上原 房子 氏

住所 中標津町西町7丁目12番地1

生年月日 昭和22年9月15日

任期 法務大臣の委嘱の日から3年間

◇任期は平成20年12月23日より平成24年12月22日までとなっています。

中標津町選挙管理委員会委員及び補充員を選出する

◇選挙管理委員会委員

・斎藤法栄氏
・豊田高明氏
・若狭満江氏
・渡邊安二氏
・鈴木勝也氏
・佐藤擴氏
・大山敏彦氏
・池田美代子氏

◇選挙管理委員会補充員

札幌中標津会（11/24）

本町出身者やゆかりの人達が集まり構成されている札幌中標津会（佐々木純会長）の第19回総会と、懇親会が11月24日札幌パシフィックホテルで開かれました。

懇親会では、小林町長から北海道植樹祭が中標津町運動公園内で行われたなど

の町の近況報告を紹介していました。



東京中標津会（11/22）

首都圏在住の中標津町出身者でつくる東京中標津会（小山昌志会長）の第21回総会が、11月22日東京八重洲フジヤホテルで開かれ、会員約100人がふるさとの話に花を咲かせていました。

平成20年10月から12月までの行事関係

期日	行事	出席者	期日	行事	出席者
10月1日	産業建設常任委員会	6/6	11月6日	産業建設常任委員会	6/6
1日	行政視察来町（神奈川県愛川町議会）	議長	7日	決算審査特別委員会	7/7
2日	議会広報特別委員会	5/5	10日	第5回臨時議会	18/18
3日	総務文教常任委員会	6/6	14日	中標津ソフトボール協会30周年記念式典・祝賀会	議長
7日	根室支庁管内町村議会議員研修会（中標津町）	議長他16議員	15日	中標津ロータリークラブ創設50周年記念式典・祝賀会	議長
8日	議会広報特別委員会	5/5	19日	第52回町村議会議長会全国大会（東京都）	議長
9日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会（根室市）	林活副会長他6議員	20日	総務文教常任委員会	6/6
10日	行政視察来町（北海道大空町議会）	議長	22日	東京中標津会（東京都）	議長
11日	釧路新聞中標津支社開設40周年記念祝賀会（中標津町）	議長	24日	札幌中標津会（札幌市）	議議正副議長
14日	第4回臨時議会	18/18	27日	根室支庁管内町村議会議長会臨時総会（中標津町）	議長
14日	議会運営委員会	6/6	28日	北海道町村議会議長会正副会長会議（札幌市）	議長
14日	議会広報特別委員会	5/5	12月1日	北方領土返還要求行進（東京都）	議議
14日	国後島・択捉島地区長他表敬訪問	議長	2日	中標津空港利用促進期成会による全日空本社への要請（東京都）	議議
16日	行政視察来町（北海道名寄市議会）	議長	4日	議会運営委員会	6/6
17日	厚生常任委員会	6/6	8日	12月定例会第1日目	18/18
17日	3合同常任委員会（根室北部廃棄物処理広域連合施設他視察）	10/10	9日	厚生常任委員会	6/6
18日	中標津町観光協会創立50周年記念式典・祝賀会	議長	9日	産業建設常任委員会	6/6
20日	決算審査特別委員会	7/7	10日	総務文教常任委員会	6/6
20日	議会広報特別委員会	5/5	11日	議会運営委員会	6/6
21日	決算審査特別委員会	7/7	12日	12月定例会第2日目	18/18
22日	決算審査特別委員会	7/7	15日	歳末特別警戒地域・交通安全出動式	議長
24日	行政視察来町（熊本県小国町議会）	議長	19日	議会広報特別委員会	5/5
11月4日	厚生常任委員会	6/6	24日	議会広報特別委員会	5/5
5日	総務文教常任委員会	6/6	29日	議会広報特別委員会	5/5

※出席者欄の数字は左側が出席者、右側が定数

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席が30席あり、先着順に議会傍聴であります。傍聴者には参考資料を配布し、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。一人でも多くの方々に傍聴していただきたく、ご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら、議会事務局に、お申し出ください。

議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197
北海道標津郡
中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場
TEL(0153)73-3111
FAX(0153)73-5333
(議会事務局にご連絡を)

- ・ホームページは
<http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは
nakasi-t@aurens.or.jp

発行／中標津町議会
編集／中標津町議会広報特別委員会

この議会だよりは再生紙を使用しています

皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年一年の世相を表わす漢字一文字が「変」という字でした。
食の安全、安心が脅かされたことや、全世界を巻き込んだ金融破綻がおこり日本経済全体が100年に一度ともいわれる危機に直面しています。
我町でもそのことがボディーローのように影響していくことが心配されます。

議会におきましては、19年度各会計決算認定を行う特別委員会を設置し、5日間の審議を重

ね認定することを決議しました。
なお一層の無駄をなくし、効率の良い町財政運営に心がけるよう提言してまいります。
議会としましても、町民の皆様の付託に応えるべく、最大限の努力をし、一緒に町づくりをしてまいります。
今年も議会に対してご意見ご提言がありましたらお聞かせ下さい。

今年も議会に対しても、町民の皆さまのご多幸とご健康を切に願い、今年一年が平穏でありますよう心からお祈り申し上げます。

編集終えて